

●特集 2025年3月28日 ミャンマーの地震

（1）概要及び最近の地震活動（注1）

2025年3月28日15時20分（日本時間、以下同じ）にミャンマーの深さ10kmでMw7.7の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は北東-南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。気象庁は、この地震に対して、同日15時47分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。この地震により、ミャンマーで死者約3,500人、行方不明者210人、タイで死者23人などの被害が生じた（2025年4月6日現在）。また、この地震の震央付近では、同日15時32分にMw6.7の地震（MwはGlobal CMTによる）が発生した。

1980年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）ではM6.0以上の地震が時々発生している。2012年11月11日にはMw6.8の地震が発生し、死者26人などの被害が生じた。

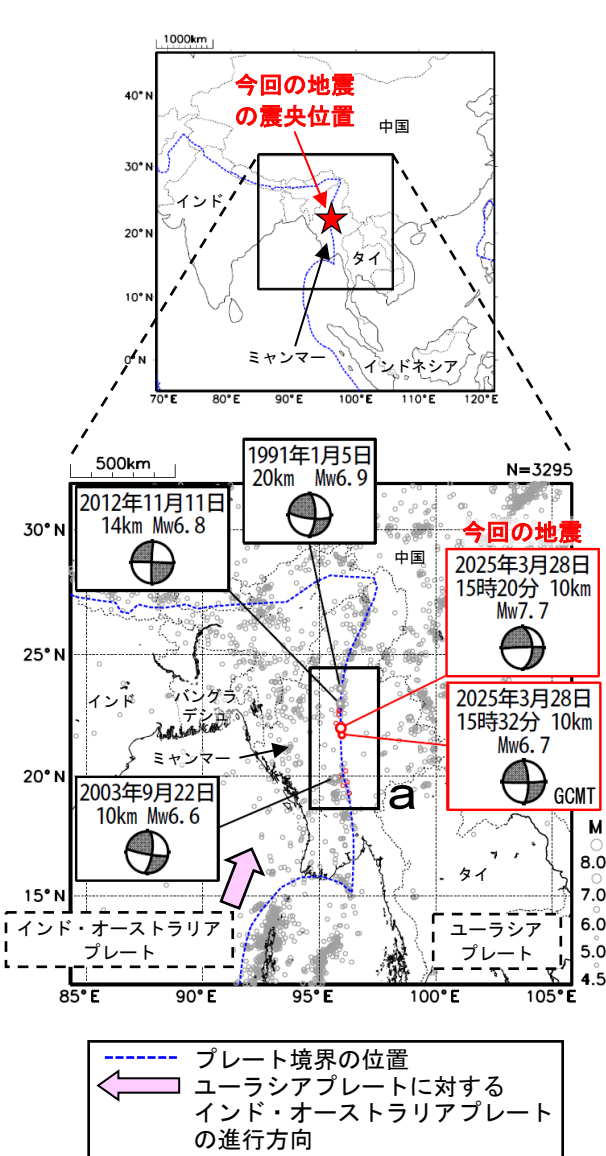


図1-1 震央分布図
(1980年1月1日～2025年3月31日、
深さ0～50km、 $M \geq 4.5$)
2025年3月28日以降の地震を赤色で表示

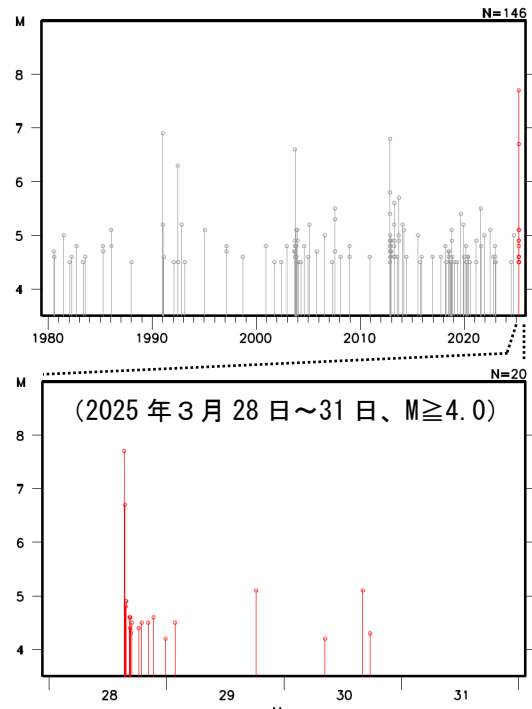


図1-2 図1-1の領域a内のM-T図

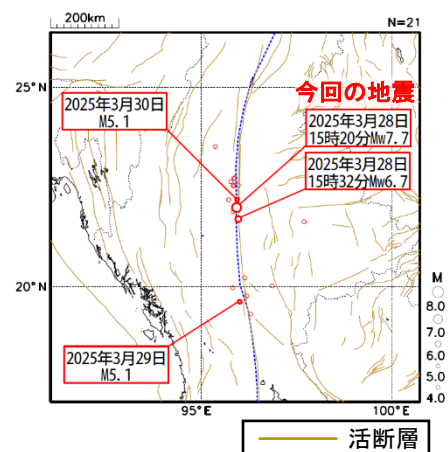


図1-3 今回の地震の震央付近の拡大図
(2025年3月28日～31日、
深さ0～50km、 $M \geq 4.0$)

(注1) 震源要素は米国地質調査所(USGS)による(2025年4月1日現在)。ただし、吹き出しを付けた地震の発震機構及びMwは、2012年11月11日の地震及び2025年3月28日15時20分の地震は気象庁、1991年1月5日の地震、2003年9月22日及び2025年3月28日15時32分の地震はGlobal CMTによる。地震の被害は、今回の地震はOCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所、2025年4月6日現在)、その他の地震は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置はBird(2003)*1より引用。活断層はStyron and Pagani(2020)*2より引用。

*1 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

*2 参考文献 Styron, R. and Pagani, M. (2020) The GEM Global Active Faults Database. *Earthquake Spectra*, 36(1), pp. 160-180, doi:10.1177/8755293020944182